

PRESS RELEASE

2012年9月10日
株式会社三菱総合研究所

2012年4-6月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号)は、内閣府より9月10日に発表された2012年4-6月期GDPの2次速報値(2次QE)を受け、8月14日当社発表の「2012・2013年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆ 予測結果 - 実質GDP成長率は12年度+2.0%、13年度+1.6%

実質GDP成長率は、12年度+2.0%、13年度+1.6%と予測する(前回見通し(1次QE後、8/14)から変更なし)。

4-6月期GDP(2次QE)は、下方修正(実質前期比+0.3%→+0.2%、同年率+1.4%→+0.7%)された。民間在庫投資の下方修正(実質前期比寄与度▲0.0%→▲0.2%)が主因。

先行きは、輸出の減少や政策効果の剥落などから、12年10-12月期にかけて低めの成長を予想する。13年1-3月期以降は、新興国経済の持ち直しなどから輸出の回復が見込まれるほか、国内でも復興需要の民間部門への波及などが予想され、回復基調を維持する見込み。ただし、海外情勢を巡る不透明感は強く、欧州債務危機、米国の財政政策(いわゆる「財政の崖」問題)、中国経済の展開次第では、こうした日本経済の見通しも下方修正せざるをえないであろう。

図表 日本経済見通し総括表

		今回見通し			前回(1次QE後、8/14)	
		2011年度 実績	2012年度 予測	2013年度 予測	2012年度 予測	2013年度 予測
(単位:前年度比)						
実質GDP	実質国内総生産(実質GDP)	0.0%	2.0%	1.6%	2.0%	1.6%
	民間最終消費支出	1.2%	1.5%	1.0%	1.5%	1.0%
	民間住宅投資	3.8%	3.0%	5.2%	3.0%	5.2%
	民間設備投資	1.1%	3.6%	2.5%	3.9%	2.5%
	民間在庫品増加(寄与度)	▲0.5%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
	政府最終消費支出	1.9%	2.0%	1.4%	2.0%	1.4%
	公的固定資本形成	2.9%	7.6%	0.4%	7.6%	0.4%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	▲1.4%	2.6%	3.8%	3.6%	3.9%
財貨・サービス輸入	5.6%	4.2%	3.0%	5.2%	3.2%	
寄与度	内需寄与度	1.0%	2.1%	1.4%	2.2%	1.4%
	民需寄与度	0.5%	1.5%	1.1%	1.5%	1.1%
	公需寄与度	0.5%	0.7%	0.3%	0.7%	0.3%
	外需寄与度	▲1.0%	▲0.2%	0.2%	▲0.1%	0.2%
名目国内総生産(名目GDP)		▲2.0%	1.7%	1.4%	1.7%	1.4%
GDPデフレーター		▲1.9%	▲0.3%	▲0.2%	▲0.3%	▲0.2%

注:本予測では、14年4月の消費税引き上げ(5→8%)、および13年度の駆け込み需要を織り込んでいる。
資料:実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 武田洋子 森重彰浩 電話:03-6705-6087 FAX:03-5157-2161 E-mail:ytakeda@mri.co.jp
広報・IR部 笠田・武居 電話:03-6705-6000 FAX:03-5157-2169 E-mail:media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。